

きょうしん  
「響心」

つながる心、かがやく笑顔

丹南中学校1年学年通信 NO.11  
平成28年12月19日

文責：川崎里佳

## ご存じですか？

No.2

## 思いがけないSNSの罠!!

12月15日（木）の道德の時間に、情報通信機器を扱う上での危険性や気をつけなければならないことなどを学習しました。

不適切な発言や写真の投稿が、自分や他人に及ぼす影響を知るとともに、情報社会における責任や義務を理解し、インターネットや情報機器を適切に利用しようとする力を身につけてほしいと思い、授業を展開しました。文部科学省の「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」を利用し、様々な事例の映像を見ながら考える時間としました。

事例の1つは、中学生時代に何も考えずに投稿した過去の情報を、高校生になってから友達に見られて、とても困ったというものです。インターネット上に投稿した記事や写真は消すことができません。「自分たちだけのLINEだから大丈夫！」なんてことも一概に言えません。

ケータイやスマホの機能にある〈スクリーンショット〉は画面が簡単に写真になります。これをfacebookなど新たなSNSに貼り付けるとたちまち拡散していきます。本人が消したと思っても、他の人によって残されていると、全世界に拡散することになります。

実際に教室で教師が、パソコンの画面にプリントスクリーンをかけると、生徒からは驚きの声が上がりました。そんなことができるとは知らない生徒がほとんどだったのです。スクリーンショットと同様にプリントスクリーンをかけると、画面がそのままとれます。切り取ったものを、別の場所にコピーして貼り付けることができます。

その事実をまのあたりにして、初めて「こわーっ」という言葉が発せられました。

インターネットの情報はデジタル情報。デジタル情報の特性は簡単にコピーができるということです。軽い気持ちでSNS等に発信した情報は簡単にコピーされる可能性があり、コピーされれば回収は不可能だと認識してほしいです。



### 授業より、生徒の声

- SNSだからって社会のルールやモラルを破っていいというわけじゃないし、自分だけではなく、周りの人や家族、自分の働いている場所にも迷惑がかかるので、SNSの使い方は気をつけます。
- スマホ・タブレット等でインターネットを活用する時に、いろんな危険があることを考えながら使おうと思いました。あと、何かを投稿する時も、いろんな権利を考えて、そして、なにより人の気持ちを考えようと思いました。
- まだケータイを持っていないけど、悪いことを書いたりしてはいけないと思うし、書かれた方の気持ちになってもいやだと思うので、1つひとつの言葉には自分の責任を持って、しっかり考えて書きたいと思いました。
- スマホを持っていないので、大丈夫だと油断していたのですが、動画1を見て、写真を撮った人も罰せられると聞いて、自分も責任を持って行動しようと思います。

インターネットの情報の公開はどんな内容でも世界中に公開されている可能性があります。今ブレイクしているピコ太郎のように、誰が見ても楽しい画像を「見てもらうこと」を目的にするのならばよい手段だと言えるでしょう。しかし、どんな内容のものでも「記録」が残るものだと認識していなければなりません。悪口やマイナスな言葉、そして他人の写真や作品など、一生残ることもあるし、場合によっては罰せられることもあります。インターネット上での人権や肖像権・著作権の侵害につながる行為はしないよう気をつけたいものです。

また、先日ニュースで騒がれていた「おでんツツツン男」のように、おもしろいから(?)という理由でSNSにわるふざけ等不適切な画像を投稿する若者もいます。法に触れることや社会のモラルに反することはやってはいけないということです。逮捕されていましたね。

『今』は大丈夫でも、将来「ダメなんじゃないの?」と社会から指摘され、時には裁かれる書き込みやupはしないことです。就職活動における企業の採用についても、企業はインターネット上の個人の情報を確認していると言われます。自分自身の人間性が問われます。『今』の自分をしっかり律し、生活していくことが大切です。

**インターネットの世界でも、現実の世界でも守らなければいけないルールや責任はさほど変わらないということです。**

使用教材は

文部科学省委託 情報モラル教育推進事業 「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」  
～安全なインターネットの使い方を考える～

です。それぞれのご家庭でも文部科学省のホームページより見ていただき、家族で話し合う機会を持っていただきたいと思います。

12/16（金）学年集会より

## 「あかんことはあかん」と言える雰囲気をも！

LINEの使用状況のアンケートより、生徒から情報が出てきたことはとてもよかったと思います。「よくしたい」「このままではいけない」という感覚があったことがよかったです。その姿勢をこれからも持ち続けてほしいと思っています。

出てきた件については、確認や指導をしました。

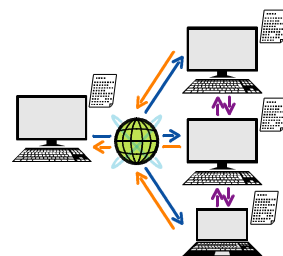
ステメやグループ内での会話・Twitterでの不快な言葉、グループ外し等、いろんなことがおきていることは事実です。正しい使い方ができていない人も多いです。

これからは、誰が見ても「マイナス」にとらないようなメッセージをおくることです。書き込みによって、イヤな思いをする人がいることを想像し、書き込んだ内容に責任を持つことです。それができなければ、情報通信機器を使うのを止めるべきです。

現実の生活の場でも、悪口やいじりが心配です。悪口を言っている、見ていて気分が悪い行動があるというのは懇談でもたくさん出ています。今後、陰口や悪口を言うことは許しません。

後になって「そんなつもりはなかった」というのは通用しません。いろんなことを想定して、行動してほしいと思います。

また、LINE等での時間割や準備物のやりとりは不必要です。個人の責任で自分の責任でかがやきノートに書いて帰るべきことです。便利の取り間違えないように有効に使えるとよいです。



情報機器取り扱いについて など

組 生徒名前 ( )

た に お り

た に お り  
のりしろ

※「のりしろ」を貼ると封筒の形になります。